

令和5年度 第1回小牧市文化財保護審議会会議録

日 時：令和5年7月20日（木） 午前10時00分～午前11時47分

場 所：小牧市役所 東庁舎4階 本会議用控室

出席者：〔委 員〕池田委員、小野委員、藤堂委員、中嶋委員、越川委員、村松委員
増田委員、西川委員

〔事務局〕中川教育長、伊藤教育部長、矢本教育部次長、武市文化財課長
長谷川文化財課長補佐兼係長、浅野専門員、坪井主査

欠席者：〔委 員〕富嶋委員

傍聴者：なし

【事務局（武市）】

定刻となりましたので、ただいまより令和5年度第1回小牧市文化財保護審議会を開催させていただきます。

皆様におかれましては、本日は、大変お忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございます。

会を始める前に、ご報告させていただきます。

本日は、富嶋委員より欠席のご連絡をいただいております。

また、今日の議事は音声録音し、議事録は、発言内容、お名前とも小牧市のホームページにて公開させていただきますので、あらかじめご承知おきください。

次に、会議資料の確認をさせていただきます。

次第の1枚、あらかじめお送りしておりましたが、議題を追加させていただきましたので、差し替え分として本日机上に置かせていただいております。続きまして、名簿1枚、報告の資料といたしまして資料1と資料2、全12ページ。また、（仮称）歴史民俗資料展示施設の整備についてとした資料3枚になります。

本日追加した資料といたしまして、先ほど追加と申しました議題の資料、資料3といたしまして、小牧市指定文化財の指定の解除の諮問文、所有者からの解除の申請書、添付資料の覚書、各1枚。参考資料といたしまして、指定解除に係る経緯を記したのもの等、15ページ分と写真1枚を追加させていただきます。それから、現地調査先の資料を1枚。また、ほかの配付物いろいろございますが、それにつきましては報告の中でまた触れさせていただきますので、よろしく願いいたします。

今の資料の中で不足等ございましたら、お申し出いただきたいと思います。よろしかったでしょうか。

それでは、次第に進む前に、今年度異動のありました事務局職員を紹介させていただきます。

【事務局（伊藤）】

皆さん、おはようございます。

教育部長の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局（矢本）】

教育部次長の矢本でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局（長谷川）】

文化財課課長補佐兼係長の長谷川と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局（武市）】

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

次第1といたしまして、教育長の中川よりご挨拶を申し上げます。

1 教育長あいさつ

【事務局（中川）】

改めまして、おはようございます。

本日は、委員の皆様方におかれましては、誠に暑い中でお忙しい中、小牧市文化財保護審議会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃から小牧市の文化財保護行政にご支援を賜りまして、重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、史跡小牧山におきましては、順次石垣復元などの史跡整備工事を進めておるところでございますが、令和5年の1月より放映が始まりましたNHK大河ドラマの「どうする家康」では、先日は本能寺に関わるころがいよいよ始まったかなというところではありますが、間もなく小牧・長久手の戦いについてが放映されるとお聞きしておるところでございます。

本年4月1日より戦国時代の小牧山に関する展示へと全館リニューアルオープンいたしました小牧山歴史館や、小牧山の麓にありますれきしるこまきへも、この

機会にぜひ、市内はもとより、市外からも多くの方にお越しいただき、小牧山をはじめとして本市の文化財に興味、関心を持つ方が今後増えていくことを大いに期待するところでございます。

さて、本日は、事前にご案内させていただきました報告のほかに、先ほど武市から話があったのですが、議題1件の追加提出がございます。内容につきましては、市指定文化財の解除についてでございます。また、報告といたしましては、令和4年度の文化財保護事業についてと令和5年度の文化財保護事業についての2件をご報告させていただきます。

限られた時間ではございますが、委員の皆様方におかれましては、慎重な審議をしていただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。この後どうぞよろしくお願いいたします。

2 会長挨拶

【事務局（武市）】

続きまして、次第2. 池田会長よりご挨拶をお願いいたします。

【池田会長】

皆さん、おはようございます。

今日も大きな議題が1つありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

もう先に言っちゃいます。長らく皆様にご迷惑かけながら会長をやっております池田ですけど、もうちょっと高齢になりましたので、ここで一回おろさせてもらって。まだ絵画担当は、ちょっと代わりの人が見つからなかったのもう1期だけ務めさせてもらって、その間に探したいと思っていますので、またどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局（武市）】

ありがとうございました。

3 会長の選出

【事務局（武市）】

今会長からお話いただきましたように、池田会長におかれましては平成25年の7月から本審議会の会長を務めていただいておりますが、昨年度をもちまして大

学をご退官されたことなどから、区切りとして、本審議会の会長の職を後任に譲りたい旨のお話をいただいております。

事務局としましては、まだまだお願いしたいところではございますが、会長の申出を尊重いたしまして、新たに会長を選任いただければと思っております。

なお、会長の選任につきましては、小牧市文化財保護条例第43条第1項に、審議会に会長を置き、委員の互選によってこれを定めるとあります。

会長の選出について、よろしく願いいたします。

【池田会長】

どなたか、新しい会長に関しましてご意見とか、ご推薦とかありましたら。

【中嶋委員】

お若くて、しかも専門性もある小野先生を推薦したいと思います。よろしく願いします。

【池田会長】

どなたかほかに。

小野先生のご推薦がありましたけれども、皆さんいかがでしょうか。

(「異議なし」の発言あり)

異議なしというお言葉がありましたので、それでは、小野先生にお願いしたいと思います。

では、ここで代わりたいと思います。

4 新会長あいさつ

【事務局（武市）】

それでは、次第4といたしまして、新会長あいさつということで、小野会長よろしく願いいたします。

【小野会長】

小野と申します。

推薦いただきまして、ちょっと戸惑いましたけれども、今まで長くお世話になっておりますので、これからも向き合いたいということで会長を引き受けました。

引き受けたからには、しっかりと小牧の文化財に向き合っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局（武市）】

ありがとうございました。よろしくお願いいたします。

次に、会長職務代理者につきまして、小牧市文化財保護条例第43条に、会長に事故があるときは会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理するとあります。したがって、小野会長の指名をお願いいたします。

【小野会長】

引き続き、西川委員をお願いしたいと思います。お願いいたします。

【事務局（武市）】

西川委員、引き続きよろしくお願いいたします。

それでは、議事に移ってまいります。ここで、教育長につきましてはほかの公務のため退席させていただきます。

【事務局（中川）】

この後、よろしくお願いいたします。

【事務局（武市）】

ここからの進行は小野会長をお願いいたしますが、本日追加となりました議題につきましては、個人情報が含まれている案件でございますので、非公開にてご審議をいただきますようお願いいたします。

【小野会長】

ただいま事務局から提案がありました議題につきまして、個人情報が含まれる案件ですので、非公開にて審議することにご異議ございませんでしょうか。

「異議なし」の発言あり

ご異議なしとのことですので、それでは、非公開にて審議いただきたいと思いません。

5 議題

(1) 小牧市指定文化財の指定の解除について

非公開

6 報告

(1) 令和4年度文化財保護事業について

【小野会長】

では、6の報告(1)令和4年度文化財保護事業につきまして、事務局の説明を求めます。

【事務局(坪井)】

資料1の1ページ目から、令和4年度の文化財保護事業につきまして、ご報告をいたします。

まず、1番といたしまして、史跡小牧山整備、管理事業です。こちらは小牧山課の所管事業です。

(1) 整備事業といたしまして、①の委員会、審議会と専門委員会をそれぞれ行いました。

②主郭地区の整備ということで、発掘調査につきましては、今後整備していきます第3・第4工区部分の発掘調査を、176.2㎡を行いました。こちら、場所につきましては、頂上から見まして南東側の2段下がった部分の曲輪に当たります。こちらでは、北側のほうから続いてくる3段目の石垣、石垣Ⅲの続きと、その下で玉石敷の遺構を確認いたしました。2月16日から18日にかけて現地を一般の方向けに公開いたしまして、約930名の見学者がありました。

整備工事といたしまして、第1工区、頂上部分、主郭部分を5年間、5工区に分けて整備を進めておりますが、その2年目に当たる第1工区、場所といたしましては歴史館の西側に当たる部分です。整備面積としまして約555㎡。1段目の石垣と2段目の石垣の復元などを行いました。

銅像、徳川義親氏の像の移築工事ということで、歴史館の正面にありました銅像の移築工事をいたしまして、現在、歴史館の1階で展示しております。

主郭地区整備第3工区の実施設計ということで、歴史館の北東側に当たる今後整備していきます部分、約1,495㎡の実施設計を行いました。こちらでも石垣の復元等の内容を含んでおります。

③小牧山城史跡情報館周辺の整備。こちら、旧管理道部分になります。もともと市役所があった跡地の整備が済んだ部分とれきしるこまきの中に以前管理道として使った部分が残っておりましたので、その整備を行いました。これによりまして土塁と堀が続きで復元することができまして、あと、木階段がその旧管理道部分で止まっておりましたけれども、それを延長しまして、よりれきしるこまきのほうへ行きやすいような環境を整備しております。

番号が重なっておりますが、③となっておりますが、④でございます。

裏込石記名イベント。こちらは、主郭地区の整備の石垣復元のときに使います裏込石にメッセージをお書きいただくというイベントですけれども、170名の方が参加されまして、その書かれた石につきましては第1工区の1段目の石垣の裏に充填いたしました。

(2) 管理事業といたしまして、1ページから2ページ目にかけて、小牧山内の施設とか樹木等につきまして保守管理、その他、園路や照明灯等の修繕を行いました。

2に移りまして、小牧市創垂館の管理運営。こちらはこまき市民文化財団を指定管理者といたしまして、施設・設備の維持管理等を委託しております。保存修理工事が終わりまして、昨年度新たに利用を開始いたしました。見学者数としては約700名、貸館としての利用は3,810名ということで利用がありました。

自主事業といたしまして、企画展「小牧なつかしの写真展」が2月から3月にかけて実施されました。

3、埋蔵文化財に関する事業、ここからは文化財課の所管の事業になります。

発掘調査を1件、天王塚遺跡第3次発掘調査。区画整理事業の道路建設に伴う調査で、こちらにつきましては令和3年度3月から着手をしておりますもので、昨年度につきましては4月12日から7月にかけて450㎡の調査をいたしました。主に中世から近世にかけての遺構、遺物を発掘いたしましたが、その中で一部、弥生時代のものも出土しております。

こちら、地元の方を対象にしまして、成果報告会ということを行いました。出土品の展示やパワーポイントを使った概要説明を行いました。19名の方が見学に訪れていただきました。

3ページに移りまして、(2)遺跡範囲確認調査。開発の前に遺跡の有無を確認する調査ですが、1件行っております。こちらにつきましては、本格的な発掘調査に至るということはありませんでした。

4、文化財環境整備事業。市で管理しております指定文化財等の除草や剪定等の委託を行いました。

(2)岩崎清流亭の藤整備基本計画の策定ということで、本日配付資料として机の上に置かせていただきました。昨年度の審議会でご意見をいただきまして、作りましたものでございます。清流亭の藤につきましては、今後、新木津用水路の改修工事が予定されておりました、藤棚の撤去等も行っていくんですが、それに先立ちまして、昨年度につきましてはちょっと強めの剪定を行いました。

5、調査、指定、資料収集ということで、文化財保護審議会、文化財資料研究会。民俗資料の収集につきましては2件ございました。

6、文化財普及啓発事業。

(1)文化財啓発事業調査委託。こちらは、学校法人足立学園さんに事業委託しまして、講座の開催等を行っていただきました。講座につきましては、歴史文化基礎講座「小牧と周辺の歴史を学ぶ」ということで3件の講座。4ページに移りました。この中では、中嶋委員にも講師をお願いいたしました。夏休みの子供向けの「子ども古文書寺子屋」。こちらは定員が15名で募集したのですが、受講者数が4名ということ。歴史講座につきましては、前期に5件、後期に3件ということで行いまして、それぞれ会場の定員につきまして約半数の受講者数がございました。

5ページに移りまして、古文書講座につきまして、基礎と実践講座をそれぞれ4回やっております。

②文化財資料の整理ということで、民俗資料保存施設に保管してある民具の整理を引き続き行っていただきまして、整理が済んだ分につきまして検索機能を持つデータの作成等を進めていただきました。

③小牧の旧道調査。昨年度は清須道を調査していただきまして、こちら、本日お配りしております清須道のパンフレットを作成していただきました。

清須道に関しまして、昨年度の事業ではないのですが、今年度に入りまして、清須道の起点の部分に、そのことを示す標柱を立てているのですが、その隣接地の方が土地を売られるという話がありまして、それを撤去してほしいという話がございます。今後撤去する予定ではおりますけれども、その後、また近くなりに設置できる場所を検討していくということで今進めております。

戻りまして、④文化財巡り。昨年度は味岡地区で実施いたしました。

⑥江崎文書資料全編の刊行ということで、こちらも本日机の上に置かせていただきました。「天明四年～安政三年 小牧山一巻 ー江戸時代の小牧山の姿を読むー」という本に文書をまとめていただきまして、釈文と解説が加わった図書になっております。

(2) 第7回こまき検定の開催。こちらは、小牧市の文化財資料研究委員会に委託して行っている事業になります。11月3日に行いまして、25名の参加があり、合格者が19名でした。

(3) マメナン観察会の開催を3月に行いました。ただ、あいにくの雨で、参加者数が9名という少ない人数になりました。

(4) 小牧・長久手の合戦ガイドマップの増刷。こちらも机の上にお配りさせていただきました。内容を一部改訂して、新たに増刷をいたしました。

6ページに移りまして、7、市指定文化財保存団体等への育成援助。こちらは、毎年行っております市の文化財補助金、野口棒の手保存会、小牧山車保存会、五本棒オマント奉納神事保存会に対して補助を行いました。それ以外の、市指定文化財の管理をされているということで、22件謝礼をお支払いいたしました。

8、歴史館の管理運営等、(1)といたしまして、こちらもこまき市民文化財団を指定管理者といたしまして、施設の設備や維持管理等、また企画展の実施等を行っていただいております。昨年度は、展示改装を行った関係で12月から3月の4か月間休館をいたしまして、入場者数が3万9,071名でございました。

①自主事業といたしまして、忍者衣装試着体験。26日間行いまして、48名の参加。甲冑試着体験、3日間行いまして67名の参加がありました。

企画展といたしまして、子供向けの展示になりますが、「小牧山を舞う野鳥たち」ということで、ちょうど夏休み期間の7月から8月にかけて行い、期間中の入場者数が5,931名でございました。

7ページに移りまして、秋の時期に「小牧・長久手の戦いの20人」ということで企画展を実施いたしまして、こちらの期間中の入場者数が1万3,446名でございます。

(2) 展示改装といたしまして、昨年度1年をかけまして歴史館のリニューアルに向けた展示改装の実施設計と実際の展示改装を行いまして、全館の展示リニューアルを行いました。

9、小牧山城史跡情報館の管理運営等、こちらも、こまき市民文化財団を指定管理者といたしまして、施設の管理等、自主事業の開催等を行っていただいております。昨年度の入館者数につきましては、3万7,049名です。歴史館が4か月間

休館してはいたんですけれども、それよりも2,000人も少ないという状況です。こちら展示改装を一部行いましたので、1日だけ休館を行っております。

こちらの自主事業につきましては、主にお城関係ですとか、信長、家康に関連した展示や講座を行っております。

企画展につきましては、「令和によみがえれ！信長の城！小牧山城石垣復元パネル展」ということで6月から8月にかけて、秋の歴史館の企画展と同じ、重なる時期になりますけれども、「家康・秀吉 覇を争う！小牧・長久手の戦い」という企画展示を実施いたしました。

また、れきしるこまき講座につきまして、こちらも小牧・長久手の戦いに関する講座や、子供向けの講座等を行いました。

8ページに移りまして、ワークショップ、ゴールデンウィーク企画、夏休みの企画等を行いまして、この中では、実際に小牧山の発掘品に触れていただくというような企画も行いました。

(2) 展示改装といたしまして、城郭シアターに小牧・長久手の合戦の映像を追加しました。

昨年度の事業につきましては以上になります。

【小野会長】

事務局からの説明は終わりました。

今の報告につきまして、ご意見、ご質問ございますでしょうか。ありましたらお願いいたします。

【越川委員】

5ページのところで、自分は民俗担当なものですから、全然急ぎではないので、ちょっとお時間のあるときに、民俗資料保存施設の保管民具の調査と整理、あとこのデータ作成をしていらっしゃるということで、自分にも少しこの情報というかデータをいただければ、見せていただければと思います。お願いします。

【事務局（武市）】

承知いたしました。

【小野会長】

こちら、もしかしてすごく価値があるとか、何か見つけられるかもしれませんもんね。じゃあ、データ共有をお願いいたします。

ほか、いかがでしょうか。

今5ページを開いているんですけども、文化財巡りっていうのを11月6日にやって、参加者17名ということですけど、文化財巡り非常に興味あるんですが、こちらは反響というか、どんな感じだったんですか。ここ何年か続けているところかと思うんですけど。ほとんどが市民の方でしょうかね。

【西川委員】

一応毎年同じ、11月の第1週前後のところで行っています。

コロナが以前あったから、一時、定員を減らしたとかそういうときもあったんですけども、去年から一応30名までいいよということをやったわけですけども、秋口に味岡の市民センターから岩崎山を巡っているいろんな史跡についての見学を、説明を聞きながら行うというものです。そういう健康面、すがすがしい気分になれるということで、季節的にはこの時期が一番いいんじゃないかなと思うんですけども。

数については、その辺はそんなに大きく変わってきたということはなく、実際は、もっと多くてもいいんじゃないかということがあるんですけども、ただ、多過ぎると、今度、説明したときのいろんなお話しするのに集まってどうのこうのとかそういうこともあって、痛しかゆしなところもあるんですけども、例年、数的には20人前後っていうことでこんな形です。

【小野会長】

そうすると、これはほとんど市民の方ですね。

【西川委員】

ほとんど市民の方です。

【小野会長】

そうですね。市民の方が、これは歩いて回るっていうことですか。

【西川委員】

そうです。

【小野会長】

そういうことですね。わかりました。

それから、4ページの夏休みの子供向け講座の受講者が4名って、すごく少ないなと思ったんですが、これはどうなんですか。

【藤堂委員】

池田先生にも去年かおとしと言われて、何とか増やそうと思って努力しましたが、集まってきません。考えてみると、小学生に古文書を教えるなんてことはちょっと無謀かなということで、諦めました。今年はもう一回挑戦していますが、なかなか集まってきません。

【小野会長】

やっぱりちょっと難しいんですかね。

【藤堂委員】

そうですね。

【小野会長】

わかりました。

【西川委員】

子供の関心はかなり多岐にわたっていて、文化財関係のこと、しかも古文書ということになると大分狭まると思うんですけども。でも、少ないから、逆に価値があると思うんです、逆に、一方では。

【小野会長】

教える先生が何かかわいそうな気もしちゃったりとかして。

【西川委員】

そりゃそうですね。

【藤堂委員】

焦ってますけど、集まりません。

【西川委員】

工夫されて、子供向けにということで関心を引こうと思って。

【藤堂委員】

はい。いろいろ工夫しましたが、やっぱりなかなかね。どうしようもありません。

【小野会長】

わかりました。今後いろいろ検討なのかなと思います。

【藤堂委員】

今年ぐらいが限界かなと。

【小野会長】

ほか、よろしいでしょうか、いかがでしょうか。

よろしければ、報告（２）に進んでいきたいと思います。

令和５年度文化財保護事業について、事務局の説明を求めます。

（２）令和５年度 文化財保護事業について

【事務局（坪井）】

資料２で、先ほどの資料からの引き続きのページ数で、９ページからになります。令和５年度文化財保護事業について。

１、史跡小牧山整備、管理事業。こちら、小牧山課の所管事業です。

（１）整備事業。小牧山整備関係の委員会、専門委員会につきまして、今週今年度第１回目を実施しております。

主郭地区の整備といたしまして、第４工区の発掘調査。こちら現在実施中ですが、頂上から見ると２段下の南東側の曲輪、以前の調査で建物の礎石とか、その周りの玉石敷が確認された部分の隣接地。その建物があったであろうと考える部分の広がりを確認するような調査を現在実施中です。一部、礎石かなと思われるような石が確認され始めたところですが、まだまだこれからになります。

第2工区の整備工事ということで、主郭部分の整備の3年目に当たります。歴史館から見まして南側の部分、2,050㎡の整備を予定しております。こちら、石垣1段目、2段目の整備とか、ちょうど大手道を上ってきた部分の岩盤と、その上に築かれた石垣の整備、石垣の復元、また園路の整備等を行います。

第4工区の整備実施設計ということで、発掘している部分と重なってくる部分にはなりますが、その部分の実施設計を計画しております。

資料には漏れてしまったんですけども、本日お配りしています小牧山城下町マップ、こちらの増刷を行いました。一部内容を修正した程度の増刷を行いました。

(2) 管理事業ということで、こちら引き続き小牧山内の施設とか樹木等の管理を行っています。

10ページに移りまして、一番上、⑨小牧山山頂送迎バス運行委託。こちら、自力での登頂が困難な方を対象にいたしまして、6月から8月のうちの7日間実施しております。車両といたしましては市のワゴン車を使って、運転手さんをお願いしまして運行しております。

⑩案内板説明板の板面貼り替え。歴史館が今年度から小牧山歴史館ということで名称変更いたしましたので、そのあたりの修正ですとか、経年劣化によって傷んだ板面の貼り替えを行います。今月中には貼り替えが終了する見込みです。

⑪利用案内看板作成委託。こちら、小牧山を利用していただく上で注意事項等を明記した看板、今は手づくりのものを立てているんですけども、もうちょっとしっかりしたものを立てるとということで予定しております。

2番、3番、4番の歴史館と小牧山城史跡情報館、小牧市創垂館に関する事業としまして、こちら3施設ともこまき市民文化財団を指定管理者として、施設の保守管理等、また企画展示の開催等を委託しております。このうち、歴史館と小牧山城史跡情報館につきましては、今年度から文化財課から小牧山課へ移管しております。

小牧市創垂館につきましては、以前行いました保存修理工事の報告書の作成を委託しております。

5、埋蔵文化財に関する事業。以下、文化財課の所管事業になります。

発掘調査で天王塚遺跡。こちらは公園整備に当たりまして、遊具とか施設の基礎、深く掘って遺跡に影響が及ぶ部分につきまして調査いたしまして、ちょうど昨日調査が終わったところで、約30㎡の調査をいたしました。

11ページに移りまして、6、調査・資料収集。こちら、文化財保護審議会、文化財資料研究委員会の委員会等。資料研究委員会につきましては、今年度もこまき検定の実施、市内の民俗資料の調査、関連書籍の執筆等を委託しております。

7、文化財環境整備事業。市が管理しております指定文化財等の除草や剪定の委託を行います。

(2) 岩崎清流亭の藤棚等撤去工事。今後予定されております新木津用水路の改修工事に向けまして、今年度は藤棚を撤去する予定をしております。

8、文化財普及啓発事業といたしまして、(1) 文化財啓発事業調査研究委託。今年度も学校法人足立学園さんに委託いたしまして、講座開催等の事業を行っていただいております。既に実施した事業といたしまして、歴史文化基礎講座を3講座、このうち1つにつきましては池田委員に講師をお願いいたしました。

12ページに移りまして、子ども古文書寺子屋ということで、「小牧山古戦場記を読もう」ということで2回を予定しております。また、古文書講座が、基礎のほうが前期、後期2回に分けて各4回、実践講座が4回。歴史講座5回。信長学ということで3回を計画しております。

文化財巡りにつきましては、小牧地区を対象に行うことを予定しております。

文化財整理、調査ということで、引き続き民具の整理を行っていただいております。

小牧宿400年記念イベントの開催ということで、小牧宿と木曾街道に関するパネル展示や民具展示を開催する予定をしております。

小牧の旧道調査ということで、今年度は一宮道などの調査を検討しております。

また、江崎家文書資料全編の刊行と信長文庫の収集を予定しております。

(2) 第8回こまき検定の開催、(3) マメナシ観察会の開催ということで、今年度もこれらの事業の開催を予定しております。

9番につきましては一旦飛ばしまして、10、市指定文化財保存団体等への育成援助。こちらにつきましても、市補助金、保存・伝承・公開等の事業に対する補助を、その他に指定文化財の管理謝礼を予定しております。

あと1件、私どもの文化財課の直接の所管事項ではないのですが、みどり公園課で現在マメナシ自生地を含んだ周辺で進めております公園整備に当たりまして、今年度マメナシ自生地の、以前こちらの審議会で保存活用計画を策定する際にご審議いただきましたけれども、搬入された盛土部分の撤去とか、後から移植されたマメナシ、その他マメナシの成長に支障となっているような木等の伐採をみどり公園課の工事の中で実施される予定です。

続きまして、飛ばしました9番の(仮称)歴史民俗資料展示施設整備事業につきましては浅野から報告いたします。

【事務局（浅野）】

資料の別紙になります。別紙1枚と、参考資料が2枚ついてございます。

（仮称）歴史民俗資料展示施設の整備についてご説明させていただきます。

1、展示施設整備の背景と主旨ということで、冒頭に教育長の挨拶からもありましたとおり、現在、国指定史跡小牧山では、山頂の歴史館周辺におきまして、令和3年度から令和7年度にかけて、主に信長が築いた石垣等の復元整備を進めております。また、本年1月からNHK大河ドラマ「どうする家康」が放映されまして、小牧・長久手の合戦で主陣地となった小牧山城についても取り上げられる予定であることから、これまで以上に小牧山が関心が高まることが期待されております。

こうした状況を踏まえまして、令和4年度、山頂にあります小牧市歴史館を、これまでの縄文から近代までの本市の歴史民俗資料を紹介する展示から、戦国時代の小牧山にまつわる展示へと全面改装を行いました。そして、4月1日より名称も、小牧山歴史館ということで変更しております。これに伴いまして、これまで歴史館で展示してございました郷土資料、主に2階部分の約200㎡にあったものにつきまして、展示する施設を新たに整備しようとするものでございます。

2、展示施設の基本的方向性といたしましては、これまで歴史館、旧歴史館で展示してございました郷土資料を中心に、市民が郷土の豊かな歴史や文化財に興味・関心を持ち、その価値を理解することで郷土に対する愛着や誇りを育むことを目的とした展示施設を整備しようとするものでございます。

3、展示予定資料一覧につきましては、別紙2枚でございますが、これまで歴史館で展示していたものを中心に展示しようと、今のところ考えております。

新たに設置する予定の場所ですが、小牧駅の西側でございますラピオビルの4階、現在市民ギャラリーとして利活用しているところの約200㎡を予定しております。

今後のスケジュールですが、今年度、令和5年度にこちらの（仮称）歴史民俗資料展示室の基本構想・基本計画を策定いたしまして、基本方針を決定してまいります。令和6年度にはその基本設計・実施設計を踏まえまして、令和7年度に整備工事を行い、令和8年度から供用開始を予定しております。

今年度策定いたします基本構想等につきましては、本審議会ですとか文化財資料研究員会等におきましても議題として上げさせていただきます、意見の徴収等させていただきますこととしております。

報告説明は以上になります。

【小野会長】

ありがとうございました。

事務局からの説明がございましたが、6の(2)の報告が今終わったところになります。皆様、ご意見などございますでしょうか。質問とかありましたらお願いいたします。

【中嶋委員】

歴史民俗資料展示施設の整備についてちょっとお尋ねしたいんですが。

ラピオビルの4階市民ギャラリーということで、面積的にはほぼ同じということですけども、一種の百貨店みたいなところへ入っていくわけですよ。そうすると、一つは火災ですね、燃えてしまったら大変だということがまず一つある。それと防犯。それぞれの施設がかなり、やっている時間がばらばらですよ。そのあたり、例えば有人でやるのか無人でやるのか、有料にするのか無料にするのか。その辺の方針が、少しは検討が進んでいるようでしたら教えていただきたいと思います。

【事務局（武市）】

歴史民俗資料の管理運営の方法についてということですけども、現在、基本構想、基本計画策定の委託を進めていこうということで業者選定を行っておりまして、8月の初旬には決まってくる予定でございます。

業者が決まりましたら、今のラピオビルの様々条件等整理いたしまして、いろんな市の施設、複合施設でございますので、そういったところとの連携も含めまして、管理運営方法についてもその中である程度固めていった中で、どういった管理運営方法が適切なのかというところを検討していきたいと思っておりますので、素案のほうは10月ぐらいにはできてくるかと思っておりますので、その頃に一度お諮りをして意見を聞きながら進めていきたいと考えております。

以上です。

【中嶋委員】

一つ要望ですけど、これまで、小牧市の歴史館は放っておいても人が来てくれる施設だったんですよ。必ずお客さんは確保できる。ところが、今回、ここへ移すとなると非常に難しいというか、集客も非常に難しいです。200㎡で、企画展示とかそういうことも多分やらないだろうと思われるんですね。そうすると、常設

展一本でどうやっていくのかなというのが、すごく難しいことがあると思いますので、その辺も含めて、頭を絞って検討してください。よろしくお願いします。

【事務局（武市）】

まさに今おっしゃっていただきましたように、200㎡ということで限りがある。今考えているのは、多世代交流プラザということで、子供を中心としているいろんな世代がそこで交わるという施設になっているものですから、ぜひ隣の図書館の、郷土資料展示などもありますし、そういったところと連携しながら集客については考えていきたいというところと、展示についても何か可変性を持って。ずっといつも同じ展示という、同じ展示も必要かと思うんですけども、少しそういった可変性を持たせて、見る方が来て、また違う展示も見れるような形を工夫していきたいなどは思っているところです。

そういったことも踏まえて素案を作っていきたいと思っております。お願いします。

【小野会長】

これたびたび、民俗資料をどこに展示するんだって、どっか場所がないとかいろいろ今まで問題にされてきて、図書館でもどこでもいいからといって、結構早い形で上げてきていただいて。

200㎡という市民ギャラリーということですけど、図書館も非常に近い位置にあるということでもうまく連携しながら、集客を課題にして進めていただければと思います。

あと、10月に素案が上がったらまた審議会があるようですので、そこでまた意見交換というか、いろいろ審議できるかと思います。

ほか、いかがでしょうか。

【西川委員】

市としては、民俗資料館的な箱物をどこかにということは、要はお金がかかることだから難しいんだけど、そういうことは全然考えてないということかね。

【事務局（武市）】

民俗資料館、比較的時代の新しいといいますが、民俗的な資料だけを展示する施設ということでは、今のところ予定はないです。

ただ、今回、新しい中央図書館で8月の秋葉祭前後に、小牧宿400年ということでテーマを持って、民俗資料も併せて展示した形で紹介するというのを今、愛知文教大学さんに委託してやっていただくんですけれども、そういった形でテーマを持って資料を集めて、そこで何か展示をしていけるようにしていきたいという思いは持っております。

以上です。

【小野会長】

ほか、いかがでしょうか。

【西川委員】

イメージとして考えるのは、ということは、ギャラリーそのものを全部取っちゃって、これが替わるということ。

【事務局（武市）】

そうです。

【西川委員】

企画展をやるのに、図書館があるから大分活用価値はあるかなと思うんですけれども、逆にいうと、一時的な企画展をやるにはギャラリーを使うという手はあると思うんですけれども、あそこが小牧市の民俗資料が集まる場所だというのは、ちょっとイメージとしてはそぐわないように思うんですよね。極端なことを言うと、例えば旧図書館の跡地を、平屋でもそういう資料館的なものを。

というのは、ちらっと耳にしたことは、西町付近の人たちが、ぜひ郷土の歴史資料館みたいなものをできないかということで。市のものだから、そういうことを一般の人がいろいろ声出しても難しいと思うんですけれども、そういう点で、あそこに建てたらどうかということ言われている人たちも若干いると思うんですけれども。

実際にビルのある一階の一部を使ってというのは、例えば大口町なんかは確かに4階か3階に作ってあるんですけれども、あれは4階のところ全部使ってそういう仕様にして、そこが資料館という形になっているんですけれども、ギャラリーというのは印象的に何となくそぐわないという感じ。逆にいうと、ギャラリーそのもの

は美術とか書道とかそういう展示のほうが利用としてはいいんじゃないかと思うんだけど。

それは一意見として感想を言っただけですけど。

【中嶋委員】

ちょっとよろしいですか。

これ、後ろの表を見ていただければわかるんですけど、民俗が入ってないですよ。歴史資料ばかり、歴史と考古資料ばかりです。やっぱり民俗資料をあそこでやるのはちょっと無理だろうとは思いますが、こういったものであれば全くなしではないだろうけど、本当は単独で管理しやすい、あるいは防犯上も防災上もきちんとできるっていうほうが望ましいには間違いないです。それはそう思います。

【西川委員】

予算を極力削減して、資料を保存倉庫から移したにすぎないような印象を受けるんですわ。

【中嶋委員】

これは、歴史館の2階がそのまま動いていくだけというイメージだと思います。民俗資料がないんですよ。

【越川委員】

民俗資料って今どこに保管しているんですか。

【事務局（武市）】

先ほどの報告の中でも、民俗資料の整理をしているというところで、小牧山の西側にあります民俗資料保存施設というのがございまして、こちらのほうで保管をしていて、そちらに入り切らない状況も出てきているものですから、その前に建っている倉庫も活用して、修理しながら、番号をつけていただきながらやっています。

先ほど旧図書館の跡地という話もございましたけれども、どうしても土地の利用上の規制がかかっていまして、展示施設っていうのがどこにでも建てられるような施設ではないというところがございまして、場所の選定は非常に難しいところがある

のかなというところで、ラピオのほうですとそういった展示施設ができるというところ。

それから、やはり本当に単独でというところもありますが、ただ、変な言い方、ついでに見ていただけるといふか、多世代交流プラザに遊びに来た子供たちが寄ってくれるということの効果もかなり期待ができるんじゃないかと考えておりますので、うまくその辺は連携させて、視認性といいますか、そういったものも興味あるように展示していくというような工夫をしながら、多くの方に来ていただけるように整備していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【池田委員】

先ほど中嶋さん民俗資料がないっておっしゃったんですけど、ここの表にはないんですが、これから入れるということなんですか。

【事務局（武市）】

こちらは旧小牧市歴史館展示物一覧表とありますので、これが実際に令和5年3月末まで、展示改装するまでは2階の部分に展示をしていた資料の一覧なんですね。なので、実際的には民俗的な資料はほとんど歴史館では、3階に一部あったんですけども、展示をしていなかったということがございます。これは本当にどちらかという土器とか石器とかいったもののみになります。

ですので、こちらのほうを基本として、まずは歴史館にあったものを展示できる施設を確保するというところで、民俗資料については、先ほどちょっと申し上げましたが、それ単体で今のところ展示をしていく施設を整備する予定はないですけども、公共施設のいろんな場所を活用しまして、テーマを持って展示していくことを取り組むなどの活用方策を検討しているところになります。

【藤堂委員】

中嶋さんがこの前から、歴史館からおろしてきてどうするんだっていう話をずっとされてきて、課長がいろいろ苦労して考えられたんだと思うんですけど、皆さんが言っていますように、あそこで展示すると、結局誰が見に行くんだろということになると思うんですけど。だから、結局小学生、中学生が来てくれるような配慮をどうするかっていうことですよ、あそこへね。

これから検討していくんだと思うんですけど、ここしかないということで課長考えられたと思うんですけど、あそこをどういうふうを活用するか、よっぽど知恵を

出さないと難しいなど。結局、言われたように管理の問題があるよね。誰か常駐するのかとかね、困っちゃうよね。だからなかなか難しい。よっぽどこれから考えていく必要があると思います。やるなら知恵を出し合わないといけない。

【池田委員】

仮称で歴史民俗って書いてあるんですけど、「民俗」を必ず入れたいということなのか、それとも、今の歴史館のものだけなのかということで、施設のタイトルが違ってくるんじゃないかなというふうに思うんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

【事務局（武市）】

基本的には、展示すべき小牧市の通史的なものを知っていただく、興味を持って、関心を持って見ていただける施設ということになりますので、民俗は一切展示しないというわけでもないものですから、ここで名称には入っているんですけども、やはり歴史資料が中心になると思っております。

ただ、何とか可変性を持ってそういうコーナーを作ればと思っておりますので、そういったところで民俗資料も一部、企画的に展示していけるような工夫ができないかなと考えているところです。

以上です。

【増田委員】

せっかく子供図書館があそこにありますよね。子供用の古墳の絵本や何かいろいろあると思うんですけど、そういうのと併せた企画展示みたいなのがやれたらあそこに移動した意味が出てくるので。子供図書館と併せた企画などを考えられてみてはいかがかなとちょっと思いました。

【小野会長】

この前たまたま、尾張旭のあさひタワーっていう建物に行ったんですけど、3階が常設展みたいになっていて。あそこはもう誰かが管理しているんじゃないくて、本当に普通に入って見ていく。壁に沿って見て、あとケースがあるところがあって、真ん中がメインになってて、そこは祭りみたいのがあったり、棒の手のちょっとしたものが見えるようになっていたりして。あれはもう管理というよりは、多分カメラだけだと思うんですけど、自由に入って出ていくっていう。

ただ、あそこは上が展望台になっているから来るときは来る、食事できるところも上に入っているからそこそこ来てっていう感じで、建物は古かったけれど、一応機能はしていたんですね。

【増田委員】

あそこ、いいもの展示しています、割と。

【小野会長】

市の文化財まであるんですよ。

【増田委員】

そうそう。円空仏がたくさん置いてある。

【小野会長】

円空もあるよね。市の瀬戸焼の、市の指定文化、江戸のものがあつたりとかして。去年、小牧で視察行ったときに出てきたじゃないですか、あれと結構そっくりなのがあつて、指定文化財になってんだこっちはみたいなのがあつて。そんなに管理ってことをほとんどしてないなと思って、勝手に来て勝手に写真撮ってたんだけど。そういうのもあるので。

【増田委員】

あそこ割といいものが置いてあつて、しかも、展示をちょこちょこ替えてはいるんです。だから、あそこに遊びに来た人がちょっと見て、こんなものがあるんだねみたいなの、子供が来て見ていく感じ、あといろんな人が見ていく。

【小野会長】

1階部分は映像が流れていたりとかして。疲れたらちょっとそこで休憩したみたいな、そんな感じで、飲み物もあつたりとかして。もしそういうところに入るのであれば、何か工夫すればいけるかなっていう気もするんですけど。

いろんな先生方が言ってくれたような課題もクリアしつつ、検討いただければと思います。

よろしいですか。

【池田委員】

名称を、人を呼びやすい。こういう名前じゃなくて、何か考えていただかないといけないなと思います。お願いします。ネーミングがちょっとこれだと。

【小野会長】

それでは、本日の議題の審議が終了しましたので、進行を事務局へお返ししたいと思います。

【事務局（武市）】

小野会長、委員の皆様、ありがとうございました。

以上をもちまして本日の議事日程全て終了いたしました。慎重なご審議をいただきましてありがとうございました。

これをもって令和5年度第1回小牧市文化財保護審議会を閉会いたします。